

秋田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語 I B
科目基礎情報						
科目番号	0007		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科 (人文科学系)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	be English Expression I Advanced いいずな書店be English Expression I Advanced Workbook いいずな書店					
担当教員	皆方 紀夫					
到達目標						
1. 教科書で扱った文法事項の使い方を理解し、ライティングやスピーキングに運用できる。 2. 教科書で扱った会話表現の使い方を理解し、実際の会話で 사용할 ことができる。 3. 日英後の音の違いについて理解し、聞き分けでき、発音を区別することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	教科書で扱った文法事項の使い方を理解し、ライティングやスピーキングに運用できる。		教科書で扱った文法事項の使い方を理解し、辞書や文法書を参照すれば、ライティングやスピーキングに運用できる。		教科書で扱った文法事項の使い方が理解できない。	
評価項目2	教科書で扱った会話表現の使い方を理解し、実際の会話で 使用することができる。		教科書で扱った会話表現の使い方を理解し、実際の会話で 使用することができる。		教科書で扱った会話表現の使い方を理解することができない。	
評価項目3	日英後の子音の違いと母音の違いについて理解し、聞き分けでき、発音を区別することができる。		日英後の子音の違いについて理解し、聞き分けでき、発音を区別することができる。		日英後の発音の違いについて理解することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では、中学校で既習の文法事項や構文を定着させるとともに、高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を新たに習得することを目標としている。 また、ここで扱う文法事項や構文を用いたさまざまな言語活動を通じ、総合的な英語力の育成を目指す。 より具体的な目標は次の2点である。 (1) 英検準2級一次試験合格レベルの文法知識とリスニング能力の習得 (2) 英検準2級二次試験の英語での応答のための基礎の確立					
授業の進め方・方法	毎回の授業は基本的に次の流れで進めていく（学生の理解度等により、授業内容や進度を変更する場合もある）。 (1) 小テスト(10分程度) 既習事項や宿題の内容などから出題。授業の内容の定着を図る。 一定の点数に満たなかった場合、再テストの受験、もしくは課題の提出を課す。 (2) 教科書 一回の授業につき、一単元のペースで進めていく。 各単元は次の流れで進める。 ①導入：会話文を読んで、当該単元で学習する文法事項と会話表現を導入する。また、日本語とは違う音の発音練習を行う。 ②定着：練習問題を通して、当該単元で扱う文法事項の定着を図る。 ③発展：単元のテーマに沿って、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能のトレーニングを行う。 上記の内容に加え、英検準2級の練習問題を行う場合もある。 スピーキング練習の際、ペアワークの成果を発表してもらう場合もある。 Workbook は自学自習用として用い、定期的に提出してもらう。 文法書（総合英語 be 3rd Edition）も基本的には自学自習用の教材である。教科書よりも詳しい文法の解説が載っているので、一通り目を通してから授業に臨むのが好ましい。また、授業でわからなかった点、取りこぼした点を復習する際にも有用である。 定期試験は基本的には授業で扱った内容から出題するが、さまざまな英文への応用力を問う問題を出題する場合もある。					
注意点	50以上を合格点とする。それぞれの定期試験結果60%、授業態度、小テスト、課題の結果を40%で評価する。学年総合評価は前期末と後期末の成績の平均である。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス		授業の進め方と評価の仕方について説明する。	
		2週	Lesson 1		現在形を使うことができる。	
		3週	Lesson 2		過去や未来を表す表現を使うことができる。	
		4週	Lesson 3		現在完了形を使うことができる。	
		5週	Lesson 4		過去完了形や未来完了形を使うことができる。	
		6週	Lesson 5		助動詞を使うことができる。	
		7週	試験対策		上記項目の内容を復習し理解する。	
		8週	到達度試験（前期中間）		上記項目について学習した内容の理解度を確認する。	
	2ndQ	9週	試験の解説と解答		前期中間試験の解説と解答	
		10週	Lesson 6		助動詞を使うことができる。	
		11週	Lesson 7		助動詞を使うことができる。	
		12週	Lesson 8		受動態を使うことができる。	
		13週	Lesson 9		SV00とSVOCの文型を使うことができる。	
		14週	試験対策		上記項目の内容を復習し理解する。	
		15週	到達度試験（前期末）		上記項目について学習した内容の理解度を確認する。	

		16週	試験の解説と解答	前期期末試験の解説と解答および授業アンケート
後期	3rdQ	1週	Lesson 10	不定詞を使うことができる
		2週	Lesson 11	不定詞を使うことができる
		3週	Lesson 12	不定詞を使うことができる
		4週	Lesson 13	動名詞を使うことができる
		5週	Lesson 14	不定詞と動名詞を使い分けることができる
		6週	Lesson 15	分詞を使うことができる
		7週	試験対策	上記項目の内容を復習し理解する。
		8週	到達度試験（後期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
	4thQ	9週	試験の解説と解答	後期中間試験の解説と解答
		10週	Lesson 16	分詞を使うことができる
		11週	Lesson 17	関係詞を使うことができる
		12週	Lesson 18	関係詞を使うことができる
		13週	Lesson 19	関係詞を使うことができる
		14週	試験対策	上記項目の内容を復習し理解する。
		15週	到達度試験（後期期末）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
		16週	試験の解説と解答	後期期末試験の解説と解答および授業アンケート

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	40	20	10	10	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20